

5歳の笑顔が、未来をつくる

Children, Our Future

子どもたちの明日

105号

幼い難民を考える会(CYR)は、難民となったカンボジアの子どもたちが懸命に生きようとする姿に触発され、1980年に設立されました。子どもたちが心身ともに健やかに成長し、その保護者が人間らしい生活環境のもとで自立できることが、難民を生み出さない平和な社会につながることを信じ、復興をめざすカンボジアで活動を続けています。2011年からは、東日本大震災の被災地で保育支援を行っています。



被災地支援活動総括

震災2周年：正念場を迎える保育施設



みたび、3月11日がやってくる。

突然の大災害に、居ても立ってもいられず被災地支援に動いたあの日から、丸2年が経とうとしている。2年という月日は、短かったのか。あるいは、長かったのだろうか…。

2012年度CYR被災地支援活動

- ◆ 避難生活を送る子どもたちが、安心・安全・楽しく過ごすための保育環境の確保
- ◆ 支援を通じた保護者・保育者の生活再建

私たちは本年度、この2つを目標に掲げて、被災地支援活動を行い、情報を発信してきました。それは、震災の記憶を風化させず、未来へ踏み出すお手伝いが私たちの役割の一つであると考えからです。

初年度に引き続き、知育玩具の寄贈や就学支援金の支給とともに、費用と人材のサポートを含めた運営の支援を通じて、宮城県の6の保育施設と、福島県の9の保育施設を応援してきました。元気に巣立っていく子どもたちや、笑顔を取り戻した保護者・保育者の姿から、活動の成果を垣間見ることができました。

しかし被災地の人々にとって、本当の意味で従来の生活が戻ってきたといえるのでしょうか。

資金獲得の難しさ、揺れる経営者たち

新年度を目前に、被災地支援活動を終えていくNGO・NPOがあります。しかし、保育施設の中には、自力で企業や団体から資金援助獲得に成功するところばかりではありません。こうした施設は支援を引き上げられた後、子どもたちのために十分な保育環境を維持していくことが可能なのでしょうか。例えば、

- ◆ 給食室を備えたいが、仮園舎のトレーラーハウスでは設置が難しい。

こうした要望を持ちながら、資金不足を理由に次年度の実施を見送る保育園の経営者がいます。あるいは、

- ◆ 運営費の目処がたっていない
- といった、子どもの居場所自体が脅かされる、深刻な状況もあるのです。

CYRは4月以降も、地域と人々に必要とされ、子どもたちのために熱心に活動する保育施設を応援していきます！

2013年度被災地支援の活動予算(案)は
5,000,000円 です。ご協力をお願いします。



認定NPO法人
 幼い難民を考える会
 CARING FOR YOUNG REFUGEES

カンボジア事業を振り返って



新しいパートナーと、新しい取り組みに挑戦した2012年度

2012年度CYRカンボジアでの活動

子どもたちが希望に満ちた未来を迎えられるように、そして女性たちが経済的に自立できるように、私たちは本年度も活動を行ってきました。事業は<保育事業>と<織物事業>の2本柱。<保育事業>では、カンボジアのNGOと協働して、新たな取り組みを始めました。

延べ6,200人の子どもたちを支援しました。

<保育事業の一部>

◆ 給食提供： 保育所や幼稚園で食べる一食の給食が、その日のすべての食事という子どもがいます。健やかな成長を支えました。

◆ 保育者研修： 支援が届きにくい僻地の州などで保育者研修を行いました。

◆ 教材配布： 独自に開発した教材や遊具は、今年度も保育の現場で大活躍しました。

<織物事業の一部>

◆ 巡回研修： 貧しい村の女性たちの織物が、少しでも高値で取り引きされるよう、新しい

模様を学ぶ研修を行いました。

◆ ピダン研修： 世界に誇るカンボジアの伝統文化の継承を目指し、ピダン(=絵紺：紺の技法で染織される絹織物)研修を行いました。

◆ 藍染技術研修： 完全草木染めで「青」を出すため、日本から藍染の専門家をカンボジアに派遣しました。現在藍の栽培から奮闘中です。

<新しい取り組み ~現地NGO「CCDO」と協働>

より多くの、より貧しい子どもたちに保育の機会を提供するために、多くの貧困層が暮らすアンドン村(プノンペン郊外のスラム)の保育所運営を支援しました。

子どもたちの1年間

学んで、遊んで、食べて、眠って…。

子どもたちは今年も元気に過ごしました。そしてカンボジアの卒園シーズン(9月)には、たくさん子どもたちが保育所や幼稚園を巣立っていきました。

2013年度カンボジアでの活動予算(案)は **13,500,000円** です。ご協力をお願いします。



おなかいっぱい食べて、大きく育ってね。



8月のテスト：子どもたちは遊んでばかりではありません。文字と数字のテストに真剣そのもの！



3カ月研修の中盤に差し掛かった1月、研修生自ら染めた糸を織り上げる段階に入りました。



9月の卒園式：我が子の立派な姿に、涙する保護者も。「お母さんの喜びは、私の喜びです」と語った保育者がいました。

第19回 花まつりコンサート

武久源造が奏でる
バッハのチェンバロ詩集

著名な鍵盤楽器奏者 武久 源造氏が奏でる絢爛たるチェンバロの音色が、桜花で彩られたお寺に響きます。

今年は特別鼎談に、武久氏、草野榮雅氏(明治寺住職)、そして「カンボジアのアンネ・フランク」文郷ボンナレット氏をお招きしています。

またとないこの機会。どうぞお聴き逃さないよう、お誘い合わせの上お越しくださいませ。

13時よりカンボジア写真展・織物展同時開催

日時：4月7日(日)

17:30開場、18:00開演

場所：百観音明治寺(中野区沼袋2-28-20)

前売：3,000円 当日：3,500円

予約：CYR (TEL 03-3943-6971)

チャリティ・コンサートです。収益は、カンボジアと被災地の子どもたちのために活用されます。

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

お知らせ

CYRの機関誌 Children, Our Future (子どもたちの明日)は、これまで8ページでしたが、この号(105号)より4ページでお届けすることになりました。これは、本会の厳しい財政状況を鑑みたとでの決断です。

子どもたち、女性たちへの支援事業に加えて、支援者のみなさまに「活動を報告する」ことを大切な責任と位置づけているCYRにとって、機関誌の減ページは苦渋の選択でした。しかしながら、さまざまな経費節減案を比較した結果、ページを減らすことの費用的効果が明らかになったため、実行することにしました。

みなさまの中には、「情報発信が不十分になるのでは…?」といったご懸念があるかもしれませんが。そのようなお声には、掲載内容を慎重に選ぶことや、誌面の使い方を工夫することで精一杯お応えしていきます。なにとぞご理解いただいた上で、今後ともCYRの活動にご協力いただきたく心よりお願いいたします。

認定 NPO 法人幼い難民を考える会

支援の現場から

～バンキアン、プレイタトウ保育所

カンボジアを訪れた団体のみなさんが、トイレにかわいい絵を描いてくれました。題材は、「日本」と「カンボジア」です。

バンキアン保育所では、「動物」や「音符」。プレイタトウ保育所のトイレには、「桜」「蓮」「地図」、そして「虹」が壁いっぱい描かれました。

トイレといえば、個室。ペンキのシンナーの匂いにくらくらしながら、一生懸命描いてくれました。

おかげで子どもたちは、すっかりトイレに行くのが楽しみに！でもトレイの中で、遊び過ぎないようにしないとね。



絵を描いてくれた、公益財団法人あすてのメンバーとプレイタトウ保育所の子どもたち・先生たち

本サポ! やってます



本サポ!は、ブックオフの協力で実施している寄付プログラム。ご家庭で不要になった本・CD・DVD・ゲームを売った代金でカンボジアと被災地の子どもたち・女性たちを支援しませんか?お申し込みは、ホームページ右側のバナーをクリック! (<http://www.cyr.or.jp/>)。お電話やファクスも大歓迎です! (CYR: TEL 03-3943-6971 / FAX 03-3943-6973)。どうぞご協力をお願いいたします!

ハガキ、切手のご寄付

みなさまにご協力いただいております。書き損じ・未使用ハガキ、切手ご寄付の2012年度総額(2月20日現在)は

♡ 279,686円 ♡ です!

あたたかいご支援に、お礼を申し上げます。大切な活動資金として、活用させていただきます。どうぞ、これからもご協力をお願いいたします。

CYR イベント情報

3月13・14日: ラタナセール (10時~17時)
カンボジア手織り布製品の決算セール!

4月 7日: 第19回花まつりコンサート
開場: 17:30、開演 18:00、場所: 百観音明治寺
(カンボジア写真・織物展は13時より)

5月25日: 第12回定時総会・活動報告会

募金にご協力をお願いします!

CYRの活動は、みなさまのご寄付で成り立っています。カンボジアと被災地で支援活動を行うため、募金のご協力をお願いいたします。



【郵便局】

郵便振替 00110-8-36227

加入者名 (特活) 幼い難民を考える会

【銀行】

三菱東京UFJ銀行 六本木支店 (普) 1351747
特定非営利活動法人幼い難民を考える会



子どもたちの明日 105号

発行日: 2013年3月5日 発行人: 深水 正勝

特定非営利活動法人 幼い難民を考える会

〒112-0013 東京都文京区音羽 1-10-4 池田ビル3F

TEL 03-3943-6971 FAX: 03-3943-6973

E-mail: info@cyr.or.jp / URL: <http://www.cyr.or.jp>

幼い難民を考える会 (CYR) は認定NPO法人です。
ご寄付は税制優遇措置を受けることができます。

カンボジア子ども絵画展

1980年、タイ・カンボジアの国境に設けられたカオイダン難民キャンプ。この地が幼い難民を考える会活動の出発点です。大切に保存してきた当時の資料を、このコーナーでご紹介していきます。

内戦で両親を亡くした孤児たちが共同生活を送った施設、チルドレン・センターで暮らす子どもたちが、クレヨンを手思いのまま描いた絵です。

In Seivyraak (当時10歳)

描かれているのはおひさまとヤシの木。幹の横線は、登るための足がかりです。飲んでよし(ココナツミルク)、食べてよし(ココナツ)、燃やしてよし(ヤシ殻は油分を含む)と三拍子揃ったヤシの実は、カンボジアでは重宝されています。「美味しそう…」と思いながら、この絵を描いたのかもしれませんがね。

In Seivyraak: 10 years (10)

